

時を経て、未来に受け継ぐ 田辺市の宝物



闘雞神社 国指定史跡・名勝

通称「権現さん」と呼ばれ、市民から愛されている闘雞神社は、熊野三山の別宮的存在で熊野信仰の一翼を担っていました。平家物語壇ノ浦合戦の故事によると、源氏平氏の双方から援軍を要請された武蔵坊弁慶の父とされている熊野別当滋増（熊野水軍）が、どちらに味方をするかの神意を確認するため赤と白の鶏を戦わせ決めたとはいわれています。



ユノミネシダ自生地 国指定天然記念物

ユノミネシダは、熱帯及び亜熱帯地方に産する大型の美しいシダで、根茎によって繁殖し、葉の伸び方はウラボシに似て二股に分かれる特徴があります。日本における分布の北限に当たることから、国の天然記念物に指定されるとともに、最初の発見地である湯峯の地名をとって植物名にしたものです。



田辺城水門 市指定史跡

周辺一帯は会津川河口に築かれた田辺城の城下町としてにぎわいました。田辺城は、元和5年（1619年）、浅野氏が築いた湊城の跡に、田辺領主となった安藤直次が築城したといわれています。



住吉神社の社叢 (オガタマの木) 県指定天然記念物

住吉神社は、宝永年間（1704～1711年）の勧請といわれる歴史ある神社であり、社殿の背後には県内最大の大木（樹高27m・幹周4m）を誇るオガタマの木があります。



高原熊野神社本殿 県指定有形文化財

正式名称は「熊野神社」で、高原地区の産土神です。樹齢1000年ともいわれる見事な楠の木に包まれたこの社殿は、中辺路沿いでは最も古い神社建築です。



磯間岩陰遺跡 国指定史跡

岩陰を利用した墳墓で、5世紀後半から6世紀代のものといわれています。竪穴式石室には田辺湾を根拠地とした漁獵民の長が、鹿角装鉄剣や釣針・鮎・貝輪などの副葬品で飾られ葬られたといわれています。



上御殿本館 国登録有形文化財

旅館「上御殿」は、江戸時代初めに当時の紀州藩主徳川頼宣公が龍神温泉へ湯治に訪れるために建てられた宿で、現在の建物は、明治18年に再建されたものです。旅館内にある「御成りの間」は、床が一段高く作られ、格式ある雰囲気を持っています。



神島 国指定天然記念物・名勝

田辺湾に浮かぶ神島は「おやま」と「こやま」の2島からなり、古くから森林が保全され、ハカマカズラをはじめとする暖地性の貴重な動植物が数多く生息しています。南方熊楠翁が生物の宝庫として調査・研究、保全活動を行い、昭和天皇に御進講したことで知られ、それを記念して詠んだ歌碑もあります。※森林保全のため上陸禁止です。

鳥巣半島の泥岩岩脈 国指定天然記念物

鳥ノ巣半島の南西海岸に干潮時、約1.5kmの岩脈が走ります。地殻変動でできた砂岩の割れ目に、液状化した泥岩層が噴出して固まったものが泥岩岩脈で、地質学的に貴重なものとなっています。

名称	指定別	所在地等
三栖廃寺塔跡	国史跡	下三栖
高山寺貝塚	国史跡	稲成町(高山寺)
磯間岩陰遺跡	国史跡	磯間
熊野参詣道	国史跡	中辺路・大辺路(闘雞神社)
天誅組志士幽閉の倉	県史跡	龍神村小又川
鮎川王子跡	県史跡	鮎川
田辺城水門	市史跡	上屋敷
百間山溪谷	県名勝・天然記念物	熊野
神島	国天然記念物・名勝	新庄町
鳥巣半島の泥岩岩脈	国天然記念物	新庄町
オオウナギ生息地	国天然記念物	富田川
栗栖川亀甲石包含層	国天然記念物	中辺路町北郡
ユノミネシダ自生地	国天然記念物	本宮町湯峯
蟾蜍岩	県天然記念物	稲成町
新庄町 奥山の甌穴	県天然記念物	新庄町
野中の一方形	県天然記念物	中辺路町野中
住吉神社の社叢	県天然記念物	鮎川

田辺市の主な文化財

名称	指定別	所在地等
熊野本宮大社社殿	国重要文化財	本宮町本宮(熊野本宮大社)
闘雞神社社殿	国重要文化財	東陽(闘雞神社)
高原熊野神社本殿	県有形文化財	中辺路町高原
木造家津御子大神坐像	国重要文化財	本宮町本宮(熊野本宮大社)
速玉大神坐像	国重要文化財	本宮町本宮(熊野本宮大社)
夫須美大神坐像	国重要文化財	本宮町本宮(熊野本宮大社)
附木造天照大神坐像	国重要文化財	本宮町本宮(熊野本宮大社)
鉄湯釜	国重要文化財	本宮町本宮(熊野本宮大社)
田辺祭	県無形民俗文化財	東陽(闘雞神社)
紀州備長炭製炭技術	県無形民俗文化財	広域
上野の獅子舞	県無形民俗文化財	下川下
下川上の流れ施餓鬼	県無形民俗文化財	下川上
野中の獅子舞	県無形民俗文化財	中辺路町野中
湯登神事	県無形民俗文化財	本宮町本宮
平治川の長刀踊	県無形民俗文化財	本宮町本宮
カモシカ	国特別天然記念物	紀伊山地
上御殿本館	国登録有形文化財	龍神村龍神



天神崎 国指定名勝

日本のナショナル・トラスト運動の先駆けとなった天神崎は、干潮時には13haもの平らな岩礁が姿を現す自然の宝庫です。背後の丘陵地には海岸林や湿地帯があり、カスミサンショウウオなど珍しい動植物が見られます。

田辺市は、平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録された熊野古道、熊野本宮大社をはじめとする、自然・歴史・文化的資源の宝庫です。特に世界遺産には、霊場と参詣道だけでなく、その周辺に広がる森林・農耕地・集落など人の営みにより培われてきた文化的景観も含まれています。田辺市では、これらの景観を含めた数々の遺産を守っていくために、「田辺市歴史文化的景観保全条例」を制定しました。昔から山や木、巨石、風や雷をも神と崇め祈りをささげてきたからこそ、有形・無形を問わず、多くの自然・文化財などが大切に守り継がれてきたのです。悠久の歴史に想像力を膨らませながら史跡や文化財を巡りまちなを歩けば、更に田辺市の魅力を感じることができます。

Tanabe's many tangible and intangible assets are rooted in the nature and traditions of the region, and have been cherished and protected to this day. Walking around the cultural historic sites with an expanding imagination, you can feel the charm of Tanabe City.